

生コン関連団体第3回集団交渉

値戻しを原資に有額回答!!



生コン産業政策協議会（生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・連帯労組関連生支部）は、3月19日にアソシ工会館で第3回集団交渉を開催した。

値戻しを成功させて
春闘で大幅賃上げを

第3回の集団交渉で経営者会の代表が冒頭「全社会を開催し、最大限の誠意をもって15春闘に臨む」と発言。しかし「現状では有額回答できる状況ではない」と回答した。

これを受けて政策協議会代表は「3協組が大同団結し、値戻しについても合意する方向に進んでいる。値戻しの環境は昨年よりも良い状況にある。昨年以下の回答はありえない」また、「景気を良くするためには賃上げをしなければならぬ」と発言。再回答を求めた。

その後、経営者会の意思統一が行われ「有額回答する」と報告した。これを受け政策協議会は、第4回集団交渉（3月26日）最終回答日には昨年・一昨年の賃上げを上回る回答をするよう強く求めた。

業界再建・業界正常化には 労組の協力が必要不可欠！

この日は、経営者会から、大同団結（3協組の合流）に向けての進捗状況と4月から限定販売を行わないことが報告された。

政策協議会代表は「広域協組のなかで、経営者会を脱会した直系工場を経営者会に戻す約束になっているにもかかわらず、そのための議論をしていないことが問題である」と指摘。「業界再建をするためには、労働組合の協力が必要不可欠。そのためには労働組合との約束を履行し、労使間の不信を無くさなければならない」と提起した。



2月19日に事業停止した(株)早水組は、労働組合（全港湾・連帯労組）が職場占拠の闘争をするなかで、新たな経営陣の下で労働者の雇用を前提とした再建の見通しがついた。

労働組合の迅速な職場占拠闘争が再建への条件を切り拓いたことが早水闘争の成果である。



労働者が労働組合に結集して闘えば、誇れる大きな成果を獲得できることに確信を深めよう。

早水組が4月に再稼働
労使の協力で実現した

生コン産業政策協議会（生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・関生支部） 大阪市西区川口2-4-28 Tel.06(6583)5546

15春闘共同ニュース

2015年
3月20日号



値 上げに向けた経過をみて
も、4月までに京都協組が
物価版の価格まで値戻しさせな
ければ、員外社や洛中協が賛同
しない。相互が疑心暗鬼になっ
ているので、京都協組協が旗振
り役にならなければならぬ。



今の協組のやり方では先送り
になってしまふ。まず、京都協
組が値上げを打ち出していく。
そして4月からの物価版の価格
に着地するよう労組から再度要
請する。



こ の間、京都協組各社の意思
を確認した。今の状況だと、
出荷量が先細りになり、数量的
に言えば約3割減となる。
京都協組の方針と労組の方針
には違いがないという認識に
たっている。
だから、各社の意思で値戻し



を遂行していく必要がある。
まず、他協組と員外社の意思
を確認した上で、時期について
は労組も含め関係会社と調整し
発表したい。

京都地域も4月から値戻しを強く要請！

奈良地域も有額回答したい

奈良協は定価 17200 円の値戻しに向けて取り
組みが最終段階に入っている。

この価格を収受するために、ゼネコン・販売
店に価格を割るようであれば出荷しないことを
周知している。

物価版が 400 円上がり、4 月からは積算資料
も 1000 円上がる。

物価版と積算資料に差があるので物価版を 4
月から引き上げてもらうように交渉を進めてい
る。また 6 月が物価版の改訂時期なので少なく
てもその時期には物価版を上げてもらう。

今春闘については大阪の集団交渉の結果を見
て、奈良の集団交渉の場で有額回答したい。

日々雇用労働者の賃上げを！

現在、生コン労働者は企業からの合理化や
集約事業などにより、日々雇用が増えている
のが現状である。

それは、安い賃金で日々雇用労働者を使い
コストを下げるためだけではなく、労使関係
をなくすことでが資本の狙いである。

例年、日々雇用も 20 日稼働前提で 500 円
の賃上げとしているが、履行はされていない。

企業が都合良くコスト削減するために日々
雇用労働者でを使うのは認められない。今こ
そ、日々雇用労働者の賃金を本勤と同等の金
額にまで大幅に引き上げなければならない。

**納得のできる有額回答でなければストライキ！
次回交渉は3月26日13:00～スタート！**